

総合閉会式

開催日 令和7年10月21日(火)

会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

プログラム

オープニング

- 脳トレミナモ体操
- 大会の振り返り
(大会メモリアル映像上映)

式典

- 開式通告
- 主催者代表挨拶
・大会会長(岐阜県知事)
・厚生労働審議官
- 登壇者紹介
- 特別表彰～健康長寿賞～

グランドフィナーレ

- ミナモダンス
- 次期開催地アトラクション
- 健康宣言!

大会旗引継ぎ

次期開催地代表挨拶

合唱「ふるさと」

閉会

- 閉式通告



4日間の大会を締めくくる総合閉会式は、一般社団法人岐阜県レクリエーション協会による「脳トレミナモ体操」からスタートしました。体操で体と心と頭をほぐした後、応援大使とともに大会メモリアル映像で大会4日間をダイジェストで振り返りました。「大会期間中は、選手をはじめ、大会運営を支えた市町村やボランティアのおかげで、岐阜県中に本当にたくさんの笑顔が輝きあふれ、健康長寿の輪が広がる大会だった」と応援大使は口を揃えて感想を述べていました。

式典中は、学校法人松翠学園岐阜女子高等学校の生徒が式典アシスタントとして式典運営を支え、岐阜県警音楽隊が式典音楽隊として音楽演奏を担当しました。

開式通告後の主催者代表挨拶に続き、「特別表彰」を行いました。これは、今大会に出場した全選手の中から、年齢上位トップ3の選手に対し、「健康長寿賞」を授与するもので、最高齢である岐阜県のグラウンド・ゴルフの97歳の選手をはじめ合計6人が対象となりました。受賞者代表として最高齢の選手が登壇し、江崎禎英岐阜県知事から健康長寿賞の表彰状が授与されました。グランドフィナーレでは、最初に社会福祉法人英集会

島保育園の園児による「ミナモダンス」が披露されました。園児たちは振り付けと歌を担当した応援大使の佐藤弘道さんに導かれる形で、元気一杯に演じ、会場を盛り上げました。続いて次期開催地アトラクションでは、埼玉県PR映像とともに埼玉県立秩父農工科学高等学校秩父屋台囃子保存部により、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「秩父屋台囃子」が披露されました。迫力のある太鼓と軽快な笛の音色が来場者を魅了しました。グランドフィナーレ最後のプログラム「健康宣言!」では、ながら児童合唱団の合唱に合わせ、岐阜県選手代表と埼玉県選手代表の2人がステージ中央で健康長寿に向けた宣言をしました。

グランドフィナーレが終わり、大会旗引継ぎのシーンでは、ながら児童合唱団の「岐阜県民の歌」に合わせ岐阜県から埼玉県に大会旗が引き継がれ、次期開催地を代表して大野元裕埼玉県知事から抱負が述べられました。

最後に、健康長寿への思いを込め会場全員で「ふるさと」を歌い、会場が感動に包まれる中、総合閉会式は終了し、4日間の大会は幕を閉じました。

ねんりんピック岐阜2025

オープニング

脳トレミナモ体操



大会の振り返り



ぎふモーニングプロジェクト



おもてなし弁当

- 1日 飛騨牛
- 2日 鮎・恵那どり
- 3日 ポーノボーク
- 4日 からあげ

大会期間中に全国からお越しいただいた選手団に提供する「おもてなし弁当」地元食材を取り入れた郷土色豊かな日替わり弁当で皆様をお迎えしました



スポーツ交流大会



ふれあいレク大会

式典

主催者代表挨拶



岐阜県知事
江崎 禎英

「ねんりんピック岐阜2025」の閉会にあたり、皆様へ感謝のご挨拶を申し上げます。

この4日間、本当に素晴らしい大会を皆さんに盛り上げていただき、ありがとうございます。私も会場を見学しましたが、選手の皆さんには見事な戦いぶりを見せていただきました。振り返ると、開会式では多くの方から「よかった、よかった」というお声をいただきました。天候の心配もあり、雨天の場合は参加できる方が限られる状況でしたが、幸いにも天候に恵まれ、感動的な開会式となりました。

今大会の特徴として、高校生などの学生の皆さんに大変頑張っていたことが挙げられます。閉会式でもアシスタントを務めていただいています。開会式では岐阜県立岐阜商業高等学校の応援部や野球部など、多くの学生に参加いただき、高校生が作り出すあの迫力にどれだけ多くの方が力をもらったことか、と思っております。4日間という短い時間ではありましたが、皆さんに示していただいたパワーを、多くの方が受け取りました。

岐阜大会は延期・中止を経ましたが、こうして見事な大会に盛り上げていただきました関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。また、各競技の会場となった市町村長の皆様にも御礼申し上げます。どの会

場でも、グラウンドや施設を整備していただき、多くの関係者の皆さんに支えていただきました。特に今回は、関ヶ原の合戦と同様に、夜に雨が降って、朝霧の中から太陽が上がると、さっと晴れるといった同じ天候が続きました。グラウンドが濡れていましたが、市町村の職員やボランティアの方々が雑巾を持って、朝から一生懸命に整備して下さったおかげで、選手の皆さんから「本当に楽しかった」というお声をたくさん聞かせていただきました。こうした点でも、ねんりんピックの素晴らしさを改めて感じました。また、ボランティアの皆様には、大変生き生きとご活躍いただきました。これも、ねんりんピックならではの特徴かなと思いました。

そして、岐阜を楽しみにお越しいただいた皆様の様子も印象的でした。驚いたのが、開会式が始まる前に物販ブースに人がいっぱい、荷物を抱えた人が宅配ブースの前に列を作っていました。もうすぐ開会式が始まるのに、「これは買いたかったんです」とおっしゃられ、ありがたいことに出店ブースも長蛇の列でした。本当に岐阜でしか食べられないものを食べたいということで、たくさんの方にお越しいただきました。嬉しかったのは、初日の飛騨牛弁当が美味しかったことから、「どこで飛騨牛が食べられますか?」とそんなお声もいただきました。本当に、県全体をあげたおもてなしを喜んでいただきました。

さらに、なんとといっても、「モーニングといえば岐阜県」とそんな流れができ始めているかなと思います。講演会にご出演いただいた鎌田實先生はお医者さんであり、有名な作家として、テレビにもご出演されています。朝ごはんがいかに大事かということをおっしゃっていただきました。こうしたモーニング文化が広がることで、日本全体がより良くなるとおっしゃっていただき、岐阜県という名前とともに、モーニングを広げていただけることを期待しています。「ねんりんピック岐阜2025」は、健康長寿に向けてのあらゆる可能性を発信していったのではないかと感じています。

岐阜大会はこれで閉幕しますが、来年の開催地である埼玉県に引き継がせていただき、健康長寿といえば日本、そして今度は健康長寿を世界に向けて発信していく流れになっていくといいなと思っています。

改めて、本当に皆さんのおかげで、大変素晴らしい大会になりました。すべての関係者の皆さんに心から感謝を申し上げまして、主催者としての御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



厚生労働省
厚生労働審議官
山田 雅彦

「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」のテーマのもと、4日間にわたり繰り広げられました、この「第37回全国健康福祉祭さぶ大会」。名残は尽きませんが、いよいよ幕を閉じようとしています。

全国各地から参加された皆様が、日頃の練習や活動の成果を存分に発揮され、開催地岐阜の皆様ほか、多くの方々に元気と感動を届けてくださいました。

優秀な成績を挙げられた皆様に、心からお祝いを申し上げますととも

に、惜しくも入賞に至らなかった皆様にも、そのご健闘、ご努力に対し、心からの称賛をお送りいたします。

ご参加の皆様におかれましては、ここでの出会いや経験が、心に残る思い出になったことと思います。本大会を契機として広がった「長寿の輪」が、全国の各地域でさらに広がり、誰もが長寿を楽しむことができる社会の実現につながることを願っております。

江崎岐阜県知事をはじめ、開催市町村、関係団体、ボランティアの皆様には、岐阜らしさあふれる様々なおもてなしをご用意いただき、大会を大成功に導いていただきました。また、観客・ご家族として、多くの方々に温かい声援を送っていただき、盛り上げていただきました。改めて、このような素晴らしい大会を支えていただいた全ての関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

来年度は、埼玉県で大会が開催されます。「咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国」のテーマのもと、来年度もまた、笑顔に満ちた大会となることを期待いたします。

結びに、岐阜県のさらなるご発展と、本大会にご参加の皆様、そして、支えていただきました関係各位のますますのご健勝を祈念いたしまして、閉会の挨拶といたします。

ねんりんピック岐阜2025

登壇者紹介



スポーツ庁健康スポーツ課長
中村 宇一



一般財団法人長寿社会開発センター
理事長 高井 康行

第1編

第5章

特別表彰



グランドフィナーレ

ミナモダンス



次期開催地アトラクション



ねんりんピック岐阜2025

健康宣言!



大会旗引継ぎ



次期開催地代表挨拶



埼玉県知事
大野 元裕

ねんりんピック岐阜2025の総合閉会式が多くの皆様の御列席の下、このように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。御参加の皆様がこのように健康と笑顔で閉会式を迎えられましたのも、江崎禎英知事をはじめとする岐阜県の皆様、厚生労働省、長寿社会開発センター、共催であるスポーツ庁の皆様、選手の皆様、そしてボランティアの皆様、本当に多くの皆様の努力の結集であり、心から敬意と感謝を申し上げたいと思います。この4日間で培われた出会い、友情、そして楽しかったことは、決して忘れることができない一生の思い出になると確信をしています。

さて、いよいよ来年11月7日から10日にかけて、埼玉県において「咲き誇れ! 長寿と笑顔 彩の国」をテーマに、ねんりんピック彩の国さいたま2026を開催いたします。この大会では、空手道やレクリエーションダンスといった新たな種目を加えた30種目が24の市町で開催されることとなります。岐阜県に負けないすばらしい大会にさせていただきたいと思っておりますので、皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

埼玉県はおいしいグルメ、豊かな伝統や文化など多彩な魅力に恵まれています。グルメ1つとっても、例えばいちごでは埼玉県の「あまりん」などの品種がブラインドでテイスティング、つまり商品名、産地、生産者等の情報を伏せて、おいしさだけで評価をするコンテストで、5連覇、日本一に輝いています。梨では、埼玉県の「彩玉」という品種が全国選手権で最高金賞を受賞しています。また、お酒も日本で4番目の出荷量を誇る生産地であり、埼玉にお越しいただいた際には、たくさん食べて飲んで楽しんでいただきたいと思います。

そして、晩年になればなるほど御活躍をされ、生涯で約500の企業の育成と約600の社会公共事業に関わられた、1万円札の顔である渋沢栄一翁も埼玉が誇る偉人であります。

是非来年の埼玉大会では、渋沢栄一翁の出生の地である埼玉で、多彩な埼玉の魅力を満喫していただきたいと思います。

結びになりますが、本大会を契機として長寿と笑顔がいつまでも続き、そしてこの岐阜で培われた友情がいつまでも続くことを心より御祈念を申し上げ、私からの御挨拶と、来年への歓迎のメッセージとさせていただきます。

合唱「ふるさと」

